

腹部超音波検査



● なにを調べる検査ですか？

主に肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓などの形や腫瘍の有無を調べます。

例えば、肝臓では肝血管腫やのう胞、胆のうでは胆石やポリープなどです。

当院では、ルーチン検査で同時に胃腸・前立腺・婦人科臓器など腹部全体の大まかな異常の有無を調べます。

● どんなことをするのですか？

〈準備〉

厚手の衣服は脱ぎ、上半身は胸元まで上げて 仰向けになっていただきます。

ズボン・スカート・下着などは腰骨が出るくらいまで下げていただきます。

時計・眼鏡・アクセサリーなどはつけたままで結構です。

〈検査〉

腹部全体に水溶性のゼリーを塗り、おなかの表面に探触子を当てて検査します。

観察しやすくするため、体位(仰向け・左横向き・座位など)を変えたり、

深呼吸や息止めをして検査を行います。

❓ 検査の所要時間は？

検査時間は通常10～15分位ですが、おなかの状況によっては20分位かかることもあります。

❓ どんな注意が必要ですか？

検査当日は朝食抜きで検査を行います。食事をとりますと、腹部全体にガスがかかって条件が悪くなり、胆のうをはじめ正確な観察が出来なくなるからです。

朝のお薬は、少量の水で服用して構いません。

同日、胃透視・内視鏡・注腸などの検査予定の方は、必ず、超音波検査を先に受けてください。